

但馬の経済指標

令和8年4月～6月

兵庫県但馬県民局

【但馬の経済概況】

<ポイント>

①但馬信用金庫の但馬管内景気動向調査によると、業況判断DIは、前期より9.2ポイント悪化し、-16.6となった。

②有効求人倍率は、6月期1.04倍。前年同月と比べて0.27ポイント減少した。

		項 目	今期(4月～6月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)
1	業況判断DI (全業種計)	但馬信用金庫	△ 16.6	△ 9.2	△ 0.7
2	雇用		6月	対前月(増減)	対前年同月(増減)
		有効求人倍率	1.04	+ 0.04	△ 0.27
			6月	前月比(%)	前年同月比(%)
		有効求人数(人)	3,080	+ 3.32	△ 12.55
		有効求職者数(人)	2,965	△ 0.50	+ 9.98
		雇用保険受給者実人員(人)	712	+ 20.47	+ 38.52
3	金融		6月	前月比(%)	前年同月比(%)
		普通貸付残高(百万円)	10,094	+ 0.27	△ 10.21
			6月	前月比(%)	前年同月比(%)
		信用保証承諾額(百万円)	1,370	+ 69.34	+ 15.91
		信用保証債務残高(百万円)	47,513	+ 0.38	△ 7.84
4	公共工事		6月	前月比(%)	前年同月比(%)
		公共工事請負金額(百万円)	2,400	+ 2.17	+ 45.99
参考	企業倒産(全県)		今期(4～6月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)
		件数	173	+ 19	△ 8
		負債総額(百万円)	20,025	+ 10,573	+ 5,909
5	地場産業	豊岡かばん		売上高、生産量、収益とも 変わらず。	売上高、生産量、収益とも 変わらず。

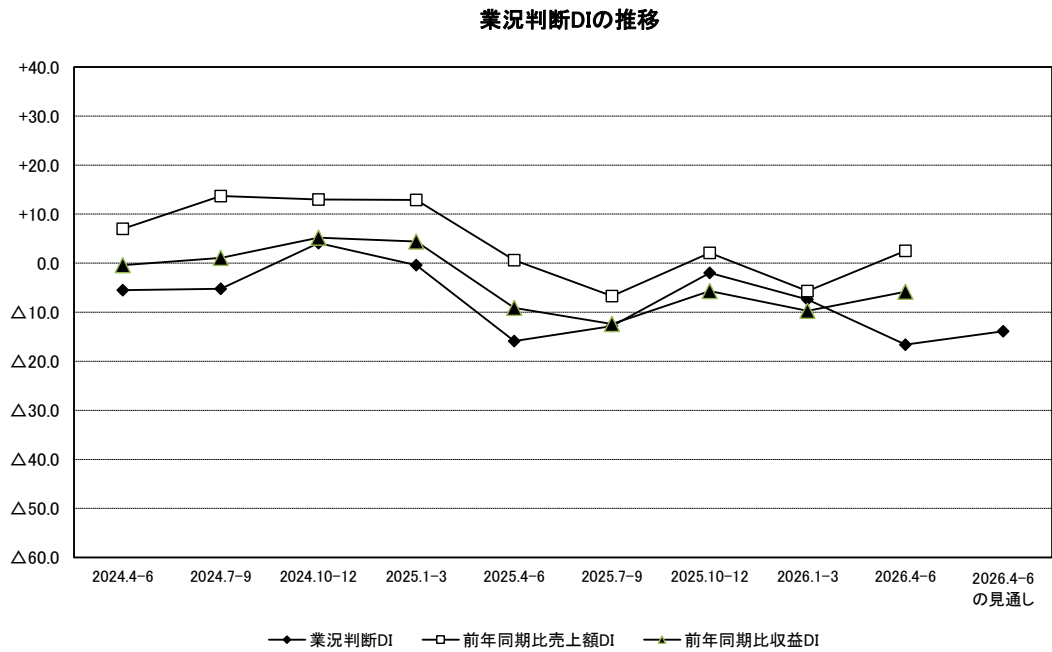
1 業況判断

但馬信用金庫

今期の業況判断DIは、前期より9.2ポイント悪化し、-16.6となった。

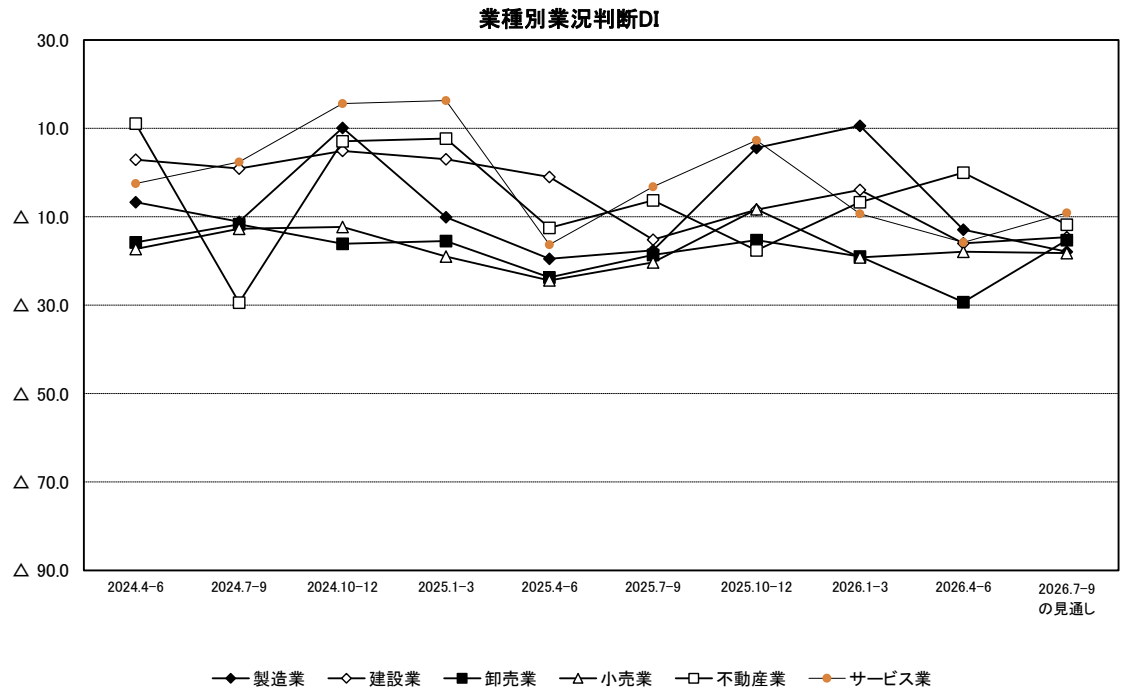
来期の見通しについては、業況判断DIが-13.9となる見通しである。

前年同期と比較した売上額DIは2.5、同収益DIは-5.8となった。



	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6	2026.4-6の見通し
業況判断DI	△5.5	△5.2	+4.1	△0.4	△15.9	△12.8	△2.0	△7.4	△16.6	△13.9
前年同期比売上額DI	+7.0	+13.7	+13.0	+12.9	+0.6	△6.7	+2.1	△5.7	+2.5	-
前年同期比収益DI	△0.4	+1.1	+5.2	+4.4	△9.1	△12.4	△5.7	△9.7	△5.8	-

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

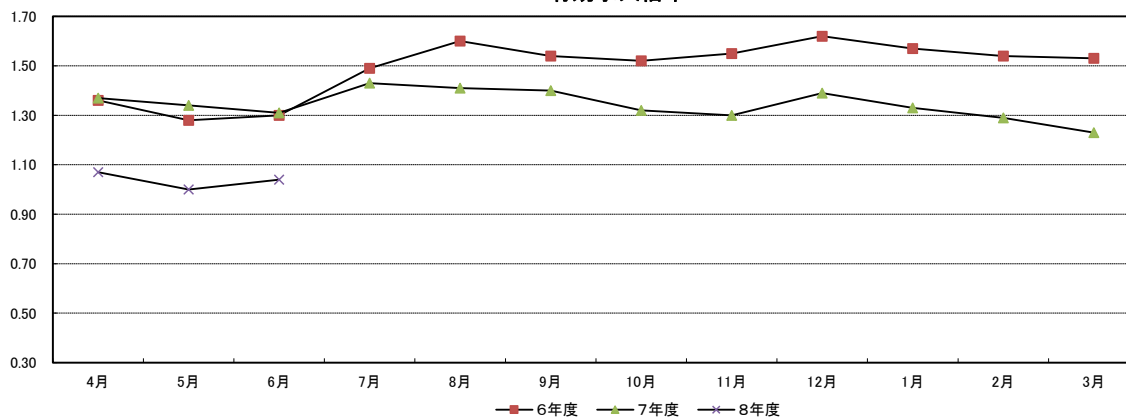


	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6	2026.7-9 の見通し
製造業	△ 6.7	△ 11.1	10.1	△ 10.1	△ 19.5	△ 17.6	5.6	10.6	△ 12.9	△ 17.9
建設業	2.9	0.9	4.9	3.0	△ 1.0	△ 15.2	△ 8.4	△ 3.9	△ 16.0	△ 14.6
卸売業	△ 15.8	△ 11.7	△ 16.1	△ 15.5	△ 23.7	△ 18.6	△ 15.3	△ 19.0	△ 29.3	△ 15.3
小売業	△ 17.3	△ 12.7	△ 12.3	△ 19.0	△ 24.4	△ 20.3	△ 8.3	△ 19.2	△ 17.9	△ 18.2
不動産業	11.1	△ 29.4	7.1	7.7	△ 12.5	△ 6.3	△ 17.6	△ 6.7	0.0	△ 11.8
サービス業	△ 2.5	2.4	15.6	16.3	△ 16.3	△ 3.2	7.3	△ 9.3	△ 15.8	△ 9.1

出典: 但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

2 雇用

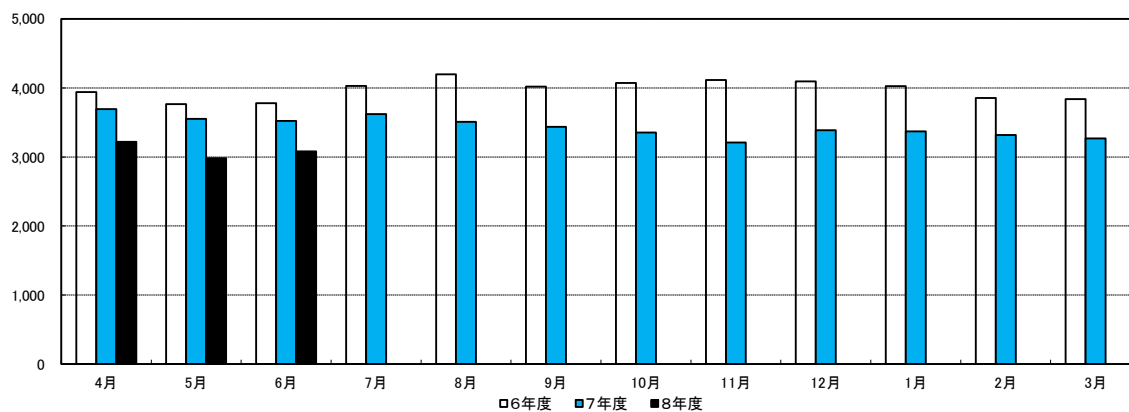
有効求人倍率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
6年度	1.36	1.28	1.30	1.49	1.60	1.54	1.52	1.55	1.62	1.57	1.54	1.53	1.49
7年度	1.37	1.34	1.31	1.43	1.41	1.40	1.32	1.30	1.39	1.33	1.29	1.23	1.34
8年度	1.07	1.00	1.04										1.04
対前月 (増減)	-0.16	△0.07	+0.04										—
対前年 (増減)	△0.30	△0.34	△0.27										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

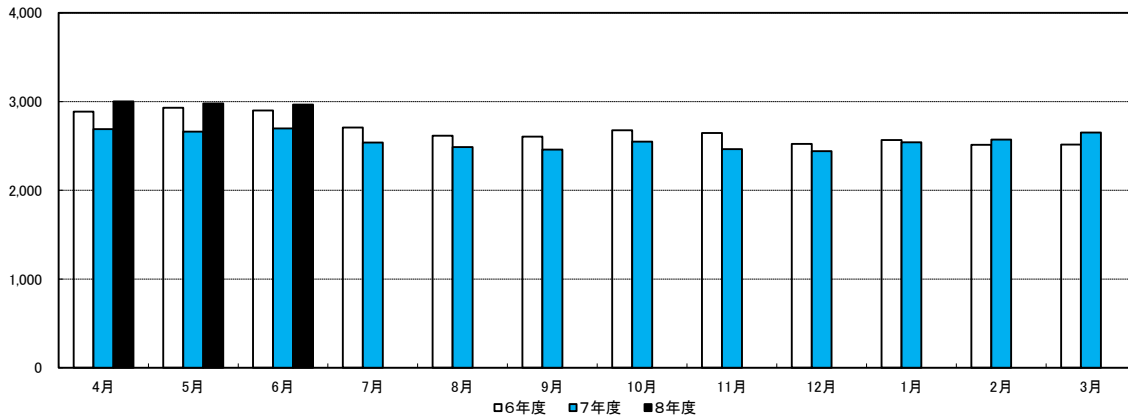
有効求人数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
6年度	3,939	3,765	3,779	4,030	4,197	4,019	4,073	4,113	4,096	4,026	3,856	3,839	3,978
7年度	3,692	3,553	3,522	3,622	3,509	3,435	3,354	3,208	3,387	3,371	3,318	3,270	3,437
8年度	3,218	2,981	3,080										3,093
前月比 (%)	△1.59	△7.36	+3.32										—
前年同月 比(%)	△12.84	△16.10	△12.55										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

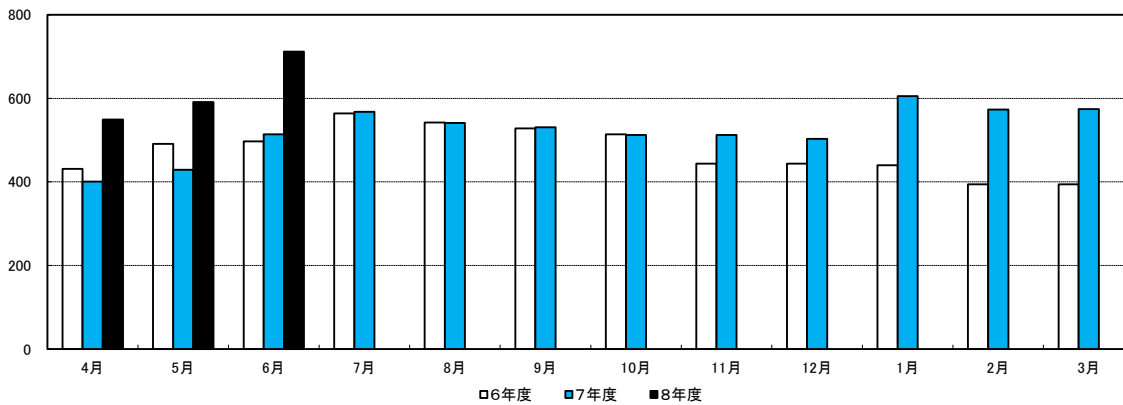
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
6年度	2,887	2,931	2,900	2,708	2,615	2,604	2,677	2,647	2,523	2,567	2,512	2,516	2,674
7年度	2,690	2,660	2,696	2,538	2,487	2,459	2,549	2,465	2,442	2,541	2,572	2,652	2,563
8年度	3,003	2,980	2,965										2,983
前月比(%)	+13.24	△0.77	△0.50										—
前年同月比(%)	+11.64	+12.03	+9.98										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)

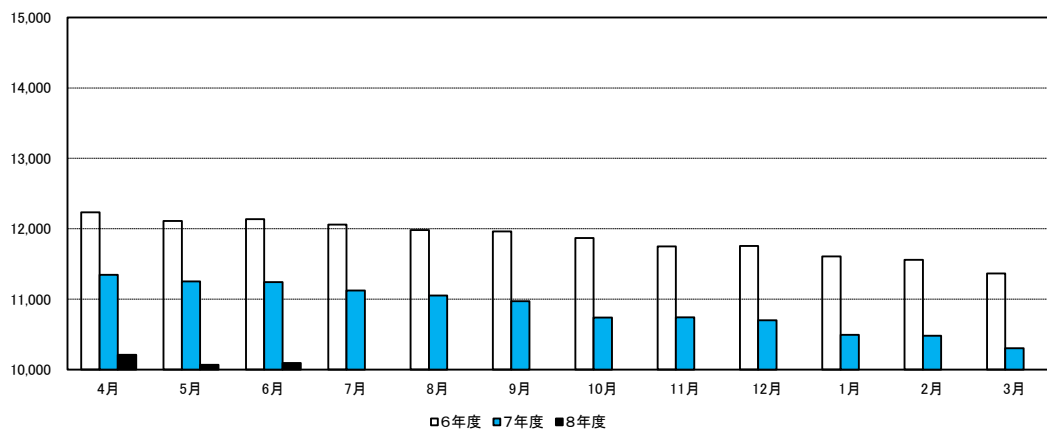


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
6年度	431	491	497	564	542	528	514	444	444	440	394	394	474
7年度	401	429	514	568	541	531	512	512	503	605	573	574	522
8年度	549	591	712										617
前月比(%)	△4.36	+7.65	+20.47										—
前年同月比(%)	+36.91	+37.76	+38.52										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

3 金融

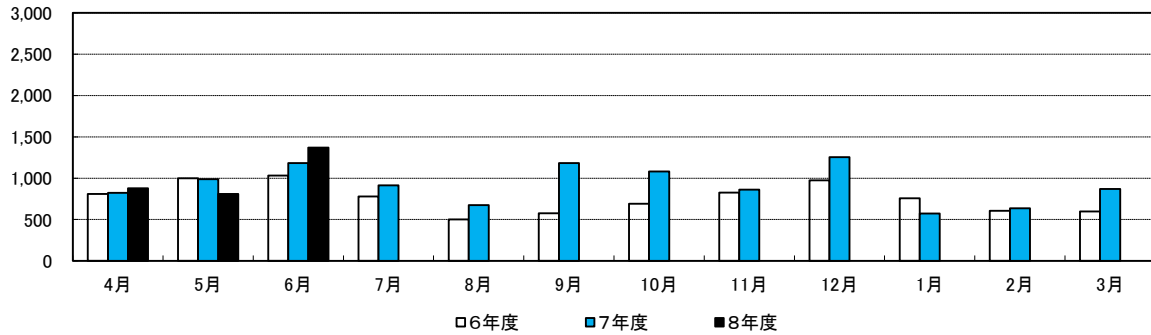
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
6年度	12,234	12,110	12,136	12,060	11,982	11,963	11,867	11,750	11,756	11,608	11,558	11,366	11,866
7年度	11,345	11,251	11,242	11,124	11,051	10,970	10,738	10,742	10,701	10,493	10,482	10,302	10,870
8年度	10,210	10,067	10,094										10,124
前月比(%)	△0.89	△1.40	+0.27										—
前年同月比(%)	△10.00	△10.52	△10.21										—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

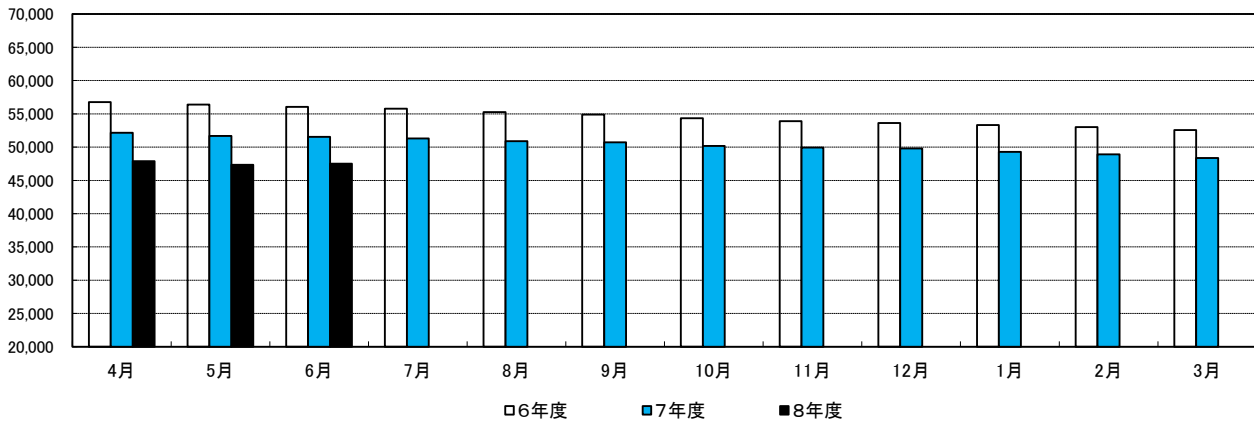
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
6年度	810	998	1,033	780	501	576	690	825	975	756	606	598	762
7年度	823	989	1,182	913	674	1,184	1,081	862	1,255	572	636	870	920
8年度	879	809	1,370										1,019
前月比(%)	+1.03	△ 7.96	+69.34										—
前年同月比(%)	+6.8	△ 18.2	+15.91										—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

信用保証債務残高(百万円)

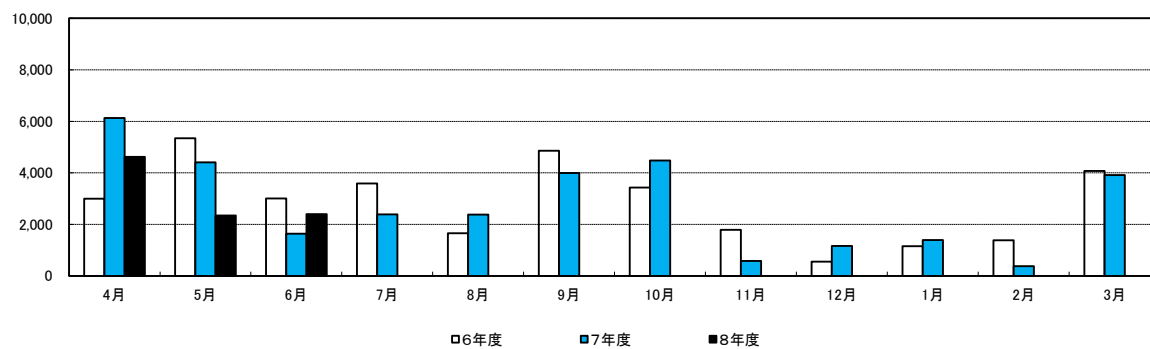


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
6年度	56,758	56,401	56,055	55,783	55,257	54,875	54,341	53,897	53,624	53,308	52,996	52,579	54,656
7年度	52,166	51,668	51,555	51,300	50,881	50,736	50,185	49,934	49,790	49,291	48,904	48,353	50,397
8年度	47,902	47,334	47,513										47,583
前月比(%)	△ 0.93	△ 1.19	+0.38										—
前年同月比(%)	△ 8.17	△ 8.39	△ 7.84										—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

4 公共工事

公共工事請負金額(百万円)

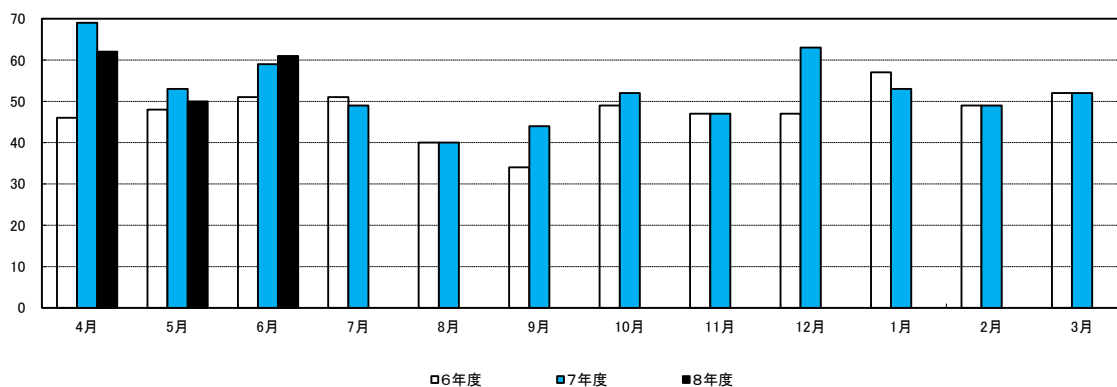


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
6年度	2,995	5,343	3,007	3,592	1,656	4,862	3,430	1,794	556	1,156	1,381	4,074	2,821
7年度	6,124	4,405	1,644	2,389	2,378	3,994	4,482	584	1,167	1,392	377	3,917	2,738
8年度	4,619	2,349	2,400										3,123
前月比(%)	+17.92	△49.14	+2.17										—
前年同月比(%)	△24.58	△46.67	+45.99										—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

【参考】 企業倒産(全県)

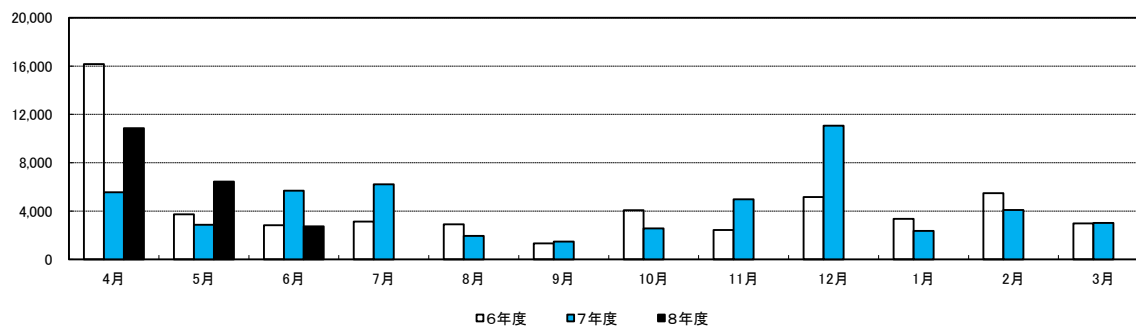
企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6年度	46	48	51	51	40	34	49	47	47	57	49	52	571
7年度	69	53	59	49	40	44	52	47	63	53	49	52	630
8年度	62	50	61										173

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支店

企業倒産負債総額(百万円)



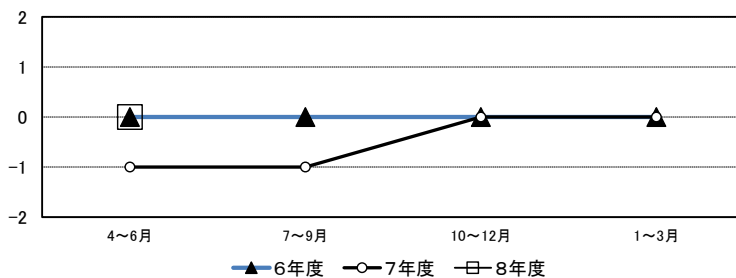
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6年度	16,168	3,731	2,823	3,128	2,906	1,326	4,073	2,431	5,155	3,348	5,484	2,972	53,545
7年度	5,565	2,858	5,693	6,215	1,937	1,479	2,562	4,983	11,072	2,351	4,092	3,009	51,816
8年度	10,865	6,432	2,728										20,025

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支店

5 地場産業(豊岡かばん)

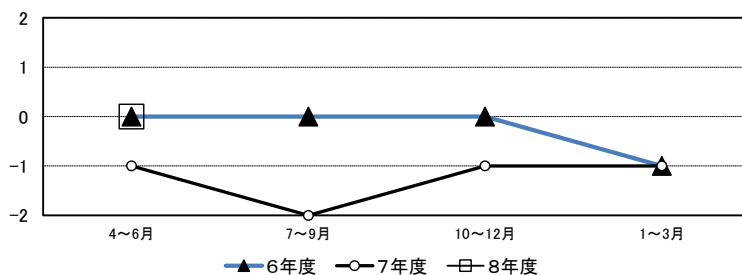
豊岡かばん 売上高 (前期比)

- 2: 多い
1: やや多い
0: 変わらない
-1: やや少ない
-2: 少ない



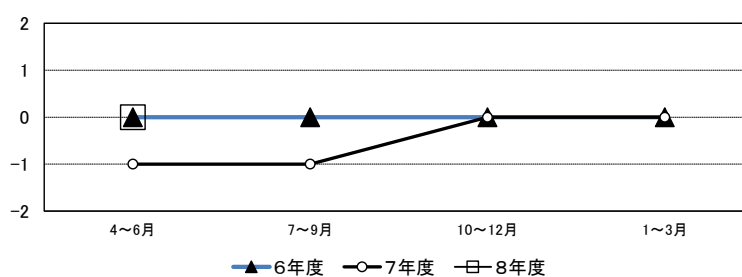
豊岡かばん 売上高 (前年同期比)

- 2: 多い
1: やや多い
0: 変わらない
-1: やや少ない
-2: 少ない



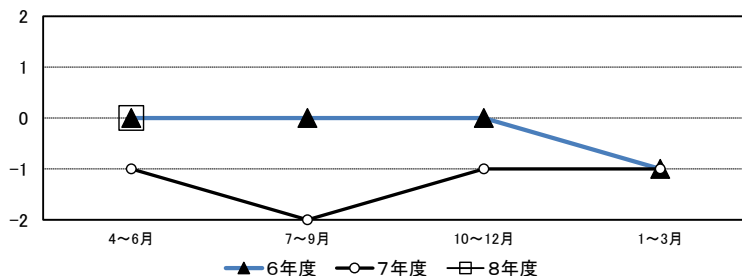
豊岡かばん 生産量 (前期比)

- 2: 多い
1: やや多い
0: 変わらない
-1: やや少ない
-2: 少ない

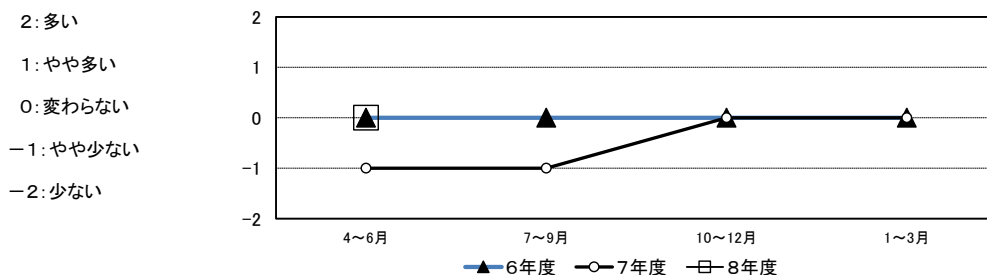


豊岡かばん 生産量 (前年同期比)

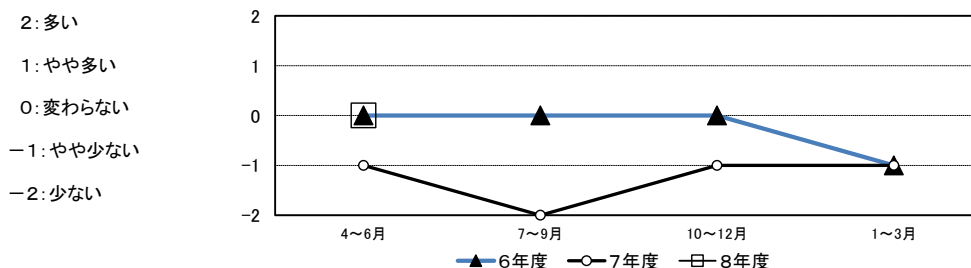
- 2: 多い
1: やや多い
0: 変わらない
-1: やや少ない
-2: 少ない



豊岡かばん 収益（前期比）



豊岡かばん 収益（前年同期比）



前期(令和8年1~3月)と比べて売上高、生産量、収益とも変わらず。

前年同期(令和7年4~6月)との比較でも売上高、生産量、収益とも変わらず。

この四半期においては、かばん産業では、閑散期であり、どの企業も比較的暇な時期で営業に力を入れ、年間の生産ベースを確保にあてている。近年は二極化して忙しい企業とそうでない企業とに分かれる。米の高騰の騒動以来、生活必需品が優先で、鞆、財布などは、購入が鈍化傾向にある。また、中東紛争により、メッキ製品などの石油関連商品やナイロン生地などの高騰により、鞆の生産経費が高くなってきている。鞆製造については、OEMの受注が減り、「豊岡鞆」の割合を増やし、経営収益の高い分野へ変更する企業も増えている。大手OEMに頼っている企業は、大手OEM先の商品の売れ筋により、生産に差が生じている。全体的にOEMの量が少なくなり、掛け率は同じで生産量が少なくなり、厳しい経営状況が続く。小さな企業では、従業員を雇わず、受注を減らし、家族経営で規模縮小の企業や合併廃業の企業も増えている。M&Aで実質の経営権を手放す中堅のメーカ、卸業種がでてきた。また、廃業、倒産する個人経営も数社出てきた。ともに、後継者がいなく、代表者が高齢化になっての廃業・倒産である。工業組合で進めている地域ブランド「豊岡鞆」も新規店舗を展開しているが、知名度のない関東、北陸では、非常に厳しい状況である。広島、姫路、大阪などもやや落ち込んでおり、販売目標の70%~80%の売上である。なお、東京ではインバウンドのお客が徐々に増え、増加の傾向もでてきた。ランドセルの販売予約により、比較的順調な店舗もある。

豊岡鞆協会 回答

6 主要業種の概況

鞆卸売業	景況感については、3月から低迷している。例年であれば、3～4月は進学や就職等で売上が伸びるが、今年度は売上が減少した。減少の主な要因としては、学童世代の購入が減少したことがあげられ、物価高の影響により鞆の購買意欲は減少傾向にある。 輸入(仕入れ)がメインのため、円安傾向の現状は厳しい状況にある。 鞆業界は、成り手不足が深刻で、新たな成り手を市場に取り込むことが難しく、採用活動も厳しい状況にある。
宿泊業	景況感については、令和7年度の同時期と比較するとほとんど変化は見られないが、年単位で比較すると、団体客の減少により若干悪くなっている。 雇用関係については、全体的に不足しているが、特に客室係が不足しており、部屋の売り止めをして対応している状況にある。 他の宿泊施設との「差別化」を目指しており、これらの取り組みの一環として、ユニバーサルツーリズムを促進しており、誰でも快適に過ごせる環境づくりを進め、「手段」としての宿泊ではなく、宿泊することを「目的」にしてもらえる施設を目指している。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和8年4月)」より

食料品 製造業	景況感については良くなっている。理由としては、昨年度より通信販売の広告宣伝に力を入れたことにより、売上が約10%高くなった。 雇用については、現時点で人員は不足していないが、地域の高齢化は避けられず、時給を上げて人も集まらない状況のため、一人一人の付加価値を上げることが大切と考えている。 中東情勢の影響により、今後ダンボールやプラスチック製品の安定供給が難しくなる可能性を懸念している。 物価高の影響により、客単価も少しずつ減少傾向にある。
娯楽業、 宿泊業	景況感については、昨年度は万博に人が流れたこと、改修工事をして影響でかなり悪かったため、昨年度と比較すると平年並みに戻った。今後の予測としては、出控えやインフレ問題、燃料費高騰の影響で悪くなると予想している。 雇用人員については常に不足しており、常時求人募集を行っているが応募はほとんどない状況。 原材料価格の高騰により、行っている事業の全てに影響が出ている。中でも固形燃料の価格が大幅に上がった。今後、配送費が値上がりする可能性についても懸念している。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和8年5月)」より

電気機械 器具製造業	景況感については、昨年度と比較するとかなり良くなっている。良くなった要因としては、社内環境の見直しを実施し、業務改善やコストの削減を行い、無駄を省いたことが大きな要因と考えられる。 雇用人員については不足しており、常時求人募集を行っているが、採用には至っていない。今年度は新規採用職員獲得に向けて募集を行う予定。 原材料価格の高騰による影響については、多少の影響はあるが、大きな影響は受けずに済んでいる。
生産用 機械器具 製造業	景況感については、営業努力の結果、新規受注を獲得できたことにより、昨年度よりかなり良くなっている。海外情勢の影響により、一時売上が落ち込んだが、受注が増えたことにより、売上が増加した。 雇用人員については不足しており、常時求人募集を行っているが、採用には至っていない。地元人材の採用を積極的に進めていきたい。 中東情勢の影響により、運送費の値上がり、油や梱包資材等の価格が値上がりした。 社内全体で業務改善に取り組んでおり、コスト削減に繋がるよう努めている。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和8年6月)」より